

パワーチョークコイル

生産終息品

Series: PCC-M0512W(MC)



小形化・大電流で低損失を実現

工業所有権：特許1（出願中）

特長

- 小形・省スペース形状（5.4×5.15×H1.2 mm）
 - 大電流（2.2 A ~ 5.5 A）
 - 低損失（DCR：19.2 ~ 168 mΩ max.）
 - 高周波対応（~ 1 MHz）
 - 低うなり（ギャップレス構造）
 - RoHS指令対応
- 磁気シールドタイプ

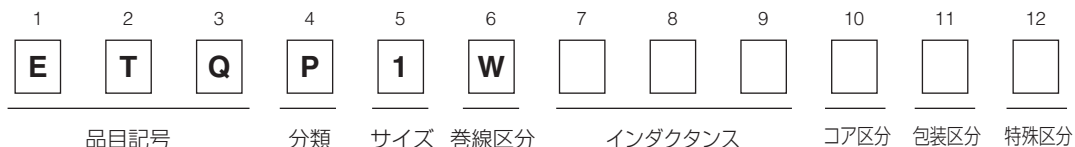
主な用途

- HDD・タブレットPC周辺用電源
- サーバー、ルータ等CPU高速駆動用DC/DCコンバータ

基準包装数量(最少包装数量)

- 6,000 pcs./box（2リール）

品番構成



製品例

品番	インダクタンス (at 20 °C) *1			定格電流 (A) *2	定格電流 (参考) (A) *3	直流抵抗 (at 20 °C) (mΩ) max.
	L0 at 0A	L1 *4				
	(μH)	(μH)	測定電流 (A)			
ETQP1WR47WFP	0.47±20 %	(0.42)	5.5	5.5	6.7	19.2
ETQP1W1R0WFP	1.00±20 %	(0.87)	4.4	4.4	4.5	46.5
ETQP1W2R2WFP	2.20±20 %	(1.80)	3.4	3.4	3.5	77.3
ETQP1W3R3WFP	3.30±20 %	(2.70)	2.8	2.8	3.0	103.0
ETQP1W4R7WFP	4.70±20 %	(3.90)	2.2	2.2	2.3	168.0

(*1) インダクタンスの測定周波数は 100 kHz

(*2) 定格電流は直流電流を流した時、コイルの温度上昇が 40 K となる電流の実力値 (Method A)

(*3) 定格電流 (参考) は直流電流を流した時、コイルの温度上昇が 40 K となる電流の実力値 (Method B)

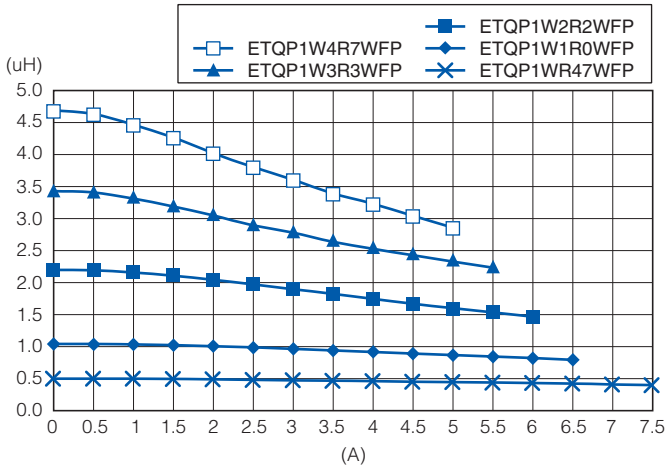
(*4) データは参考値です

(*5) Method A (当社標準測定条件), Method B (多放熱測定条件) は測定方法による差異です

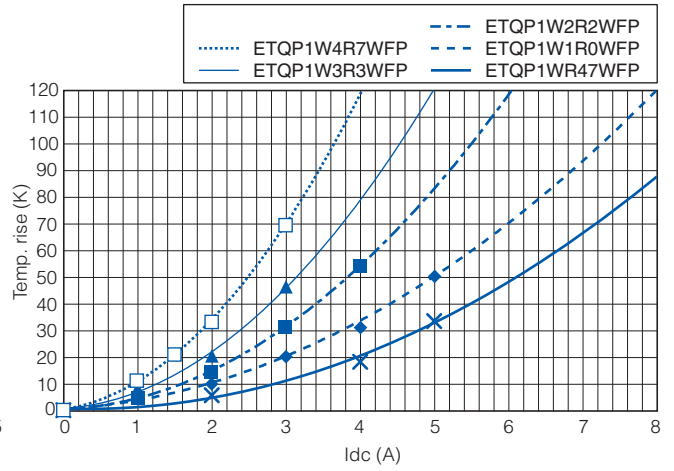
温度上昇は基板条件・環境条件等で異なりますので、御社ワークスケースでの実機評価をお願いします

特性例 (参考)

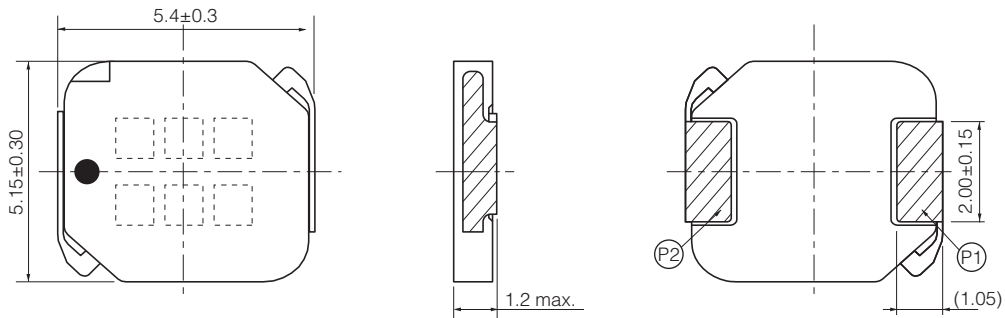
直流重畳特性



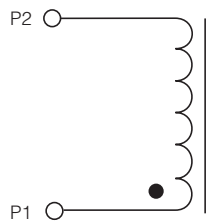
温度上昇 (Method A)



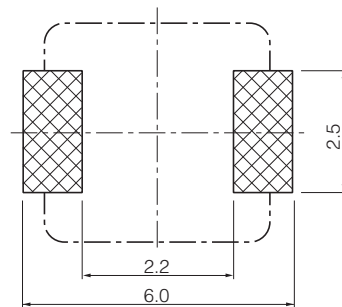
形状寸法 (mm)



結線図



推奨ランド寸法 (mm)



- 包装方法, はんだ付け条件, 安全上のご注意 (民生用パワーチョークコイルの共通注意事項) は共通情報をご参照ください。